

【文学部 英文学科 各入学試験の選抜方法等】

■ 前期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査（「大学入学共通テスト」）により合格者を決定します。第二次学力検査（個別学力試験等）は実施しません。

「調査書」、「志願書」を活用し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を測ります。

〈試験利用教科・配点〉

(1) 3教科3科目型・計400点

(2) 5教科5科目型・計600点

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、及び配点等

日程	必要な科目数	大学入学共通テスト利用教科・科目				配点	個別学力試験	個別学力試験の配点		
		教科	科目	科目選択方法						
前期一般選抜	3教科3科目または5教科5科目	国語	「国語」		2科目選択または4科目選択	100	課さない			
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」 「地理B」			1科目選択			100	
		公民	「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」			1科目選択			100	
		数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」			1科目選択			100	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」			から2 (A)			(A)	100
			「物理」「化学」 「生物」「地学」			から1 (B)			または (B)	
		外国語	「英語」			(必須)			200	
						3教科3科目型 計400点 5教科5科目型 計600点				

- 1) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 2) 外国語の「英語」は、「リーディング」と「リスニング」の配点比を1:1とし、リーディング100点・リスニング100点、合わせて200点とします。
- 3) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を使用します。

■ 中期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査（「大学入学共通テスト」）、第二次学力検査（個別学力試験）により合格者を決定します。

「調査書」、「志願書」を活用し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を測ります。

〈試験利用教科・配点〉

英語は必須で、配点は200点満点です。それ以外の科目の配点はそれぞれ100点満点です。英語の個別学力試験の配点は200点満点です。

1) 3教科3科目型+英語個別学力試験=合計600点

2) 5教科5科目型+英語個別学力試験=合計800点

英語の個別学力試験では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を測ります。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力試験の教科・科目、及び配点等

日程	必要な科目数	大学入学共通テスト利用教科・科目				配点	個別学力試験	個別学力試験の配点 (試験時間)		
		教科	科目	科目選択方法						
中期一般選抜	3教科3科目または5教科5科目	国語	「国語」		2科目選択または4科目選択	100	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ）	200点 (100分)		
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」			1科目選択			100	
		公民	「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」						100	
		数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」			1科目選択			100	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」			から2 (A)			(A) または (B)	100
			「物理」「化学」 「生物」「地学」			から1 (B)				
		外国語	「英語」			(必須)			200	
						3教科3科目型 計600点 5教科5科目型 計800点				

- 1) 理科の基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 2) 外国語の「英語」は、「リーディング」と「リスニング」の配点比を1:1とし、リーディング100点・リスニング100点、合わせて200点とします。
- 3) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を使用します。

■ 学校推薦型選抜（従来の推薦入試）

〈選考方法〉

小論文と調査書・推薦書・志願書の総合判定により合格者を決定します。

「調査書」、「志願書」を活用し、「主体性・多様性・協働性」を測ります。

- 1) 「小論文」が 70 パーセント、「提出書類」が 30 パーセントの割合で合否判定を行います。
- 2) 「小論文」は、英語の読解力と英語による表現力を見る問題形式であり、それによって、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に測ります。したがって、「小論文」は以下の問題形式に変更致します。

英語の読解力を見る問題は、英文を日本語で要約したり、英文の内容について日本語で論述する形式になります。英語の表現力を見る問題は、日常的なトピックに関する英作文等を含む問題形式になります。

- 3) 出願資格は、評定平均値 3.8 以上とします。

■ 総合型選抜（従来の AO 入試）

〈選考方法〉

「調査書」、「志願書」を活用し、「主体性・多様性・協働性」を測ります。

実技は、「英文の日本語要約」、「英文和訳」、「日本語の英文要約」、「和文英訳」で、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を測ります。

面接では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を総合的に測ります。

〈エントリー資格〉

[資格評価型]

- 1) 実用英語技能検定試験（英検）の 2 級以上を取得している。準 1 級以上の場合、実技は免除されます。
- 2) TOEIC で 490 点以上を得点している。730 点以上の場合、実技は免除される。（推薦入試とは異なり、IP テストの **Score Report** は認められません。）
- 3) TOEIC Bridge で 155 点以上を得点している。（推薦入試とは異なり、IP テストの **Score Report** は認められません。）
- 4) TOEFL で次の条件を満たしている。iBT（インターネット版）で 48 点以上。79 点以上の場合、実技は免除される。（推薦入試とは異なり、ITP のスコアは認められません。）

1) から 4) の資格・検定試験について、エントリーの時点で取得していれば、取得時期の制限はありません。また、英検については、新型のものと従来型のもの双方が対象となります。

[活動評価型]

- 1) 都道府県レベルの英語スピーチ・コンテスト（レシテーション・コンテストは除く）において3位以内に入賞したことがある。
- 2) 高等学校在学中に、英語で授業を行っている海外の高等学校に一学年相当留学したことがある。
- 3) 日本語（国語）以外の科目の授業を英語で行っている、国内および海外の高等学校を卒業している。